

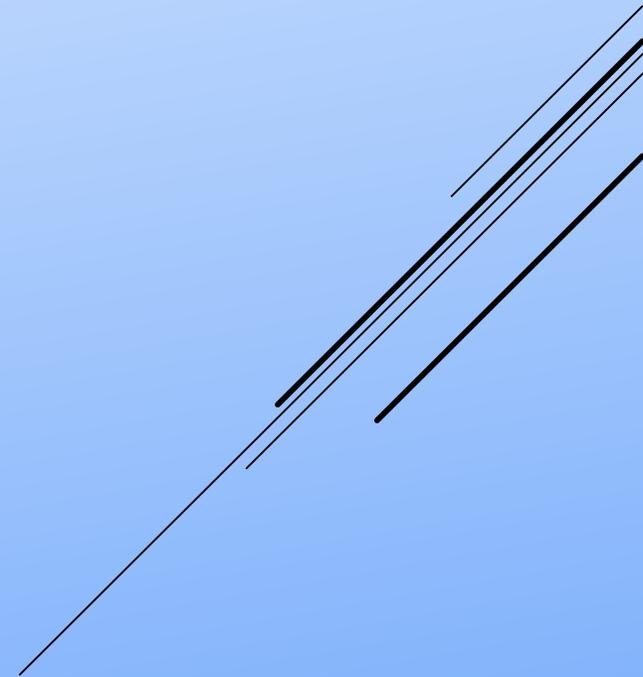
腹腔鏡の避妊手術について

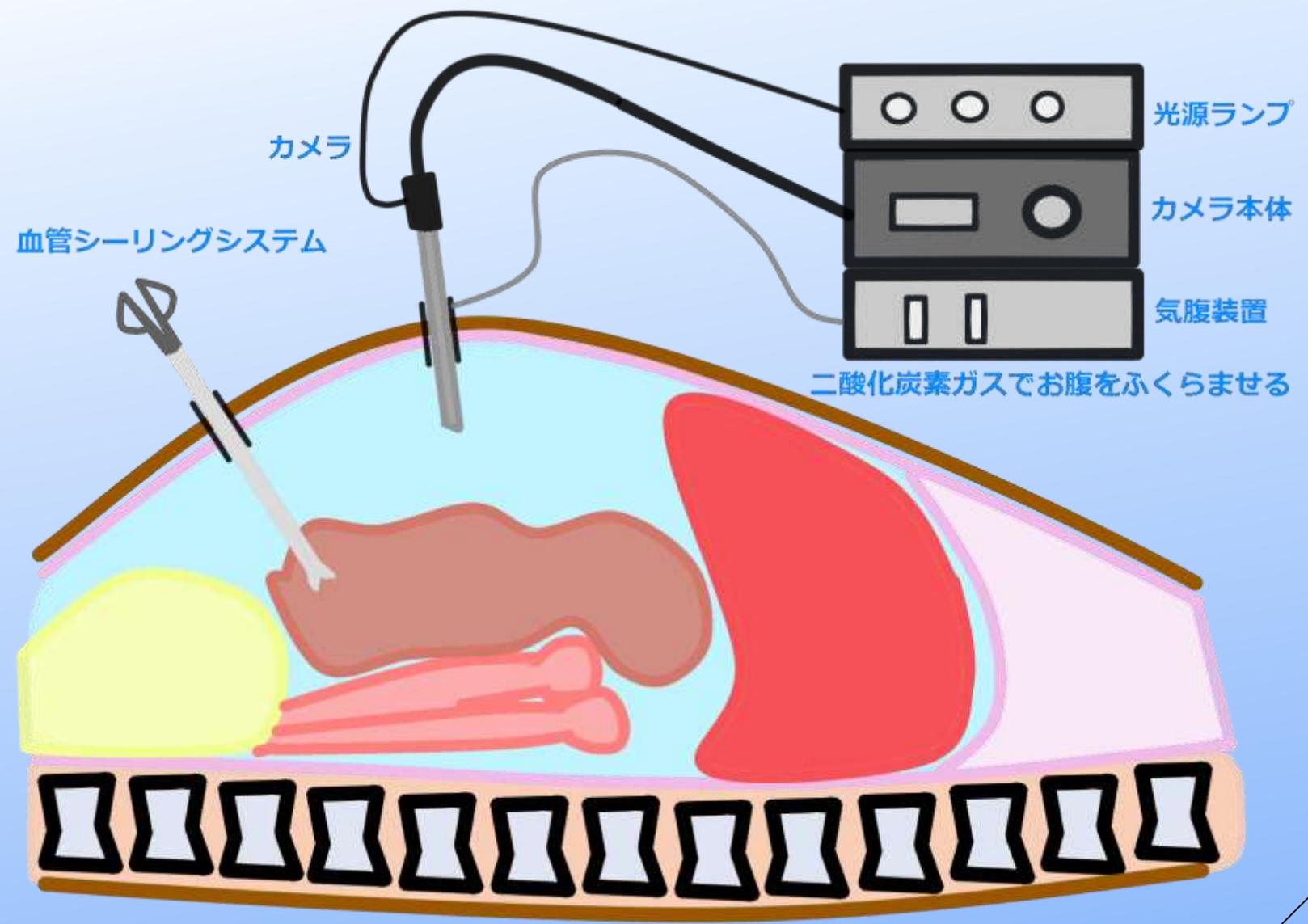
自由が丘動物医療センター

- ・ 腹腔鏡手術はどんな手術？
- ・ メリットとデメリット
- ・ 避妊手術の方法
- ・ 実際の傷あと
- ・ 手術の流れ

2022年 寺村靖史

腹腔鏡手術はどんな手術？





腹腔鏡のイメージ



実際の手術風景

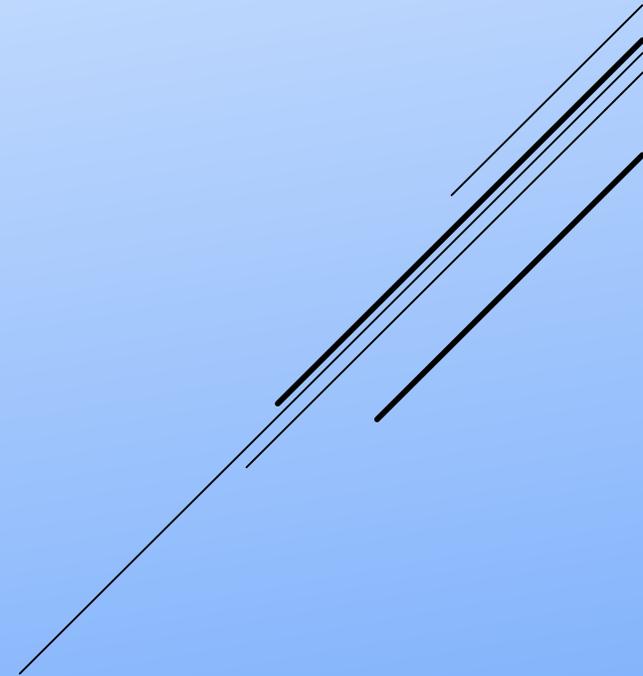


使用する器具 腹腔鏡のカメラやチューブ



血管シーリングシステム（ソニックビート）

腹腔鏡のメリット・デメリット



- ▶ 傷が小さい
- ▶ 痛みが少ない
- ▶ 入院期間が短い（**避妊なら日帰り**）
- ▶ 術野を拡大して見ることができる
- ▶ 開腹では見にくい部位も簡単に見ることができる
- ▶ 臓器が外気に触れない

腹腔鏡のメリット



傷の大きさの違い

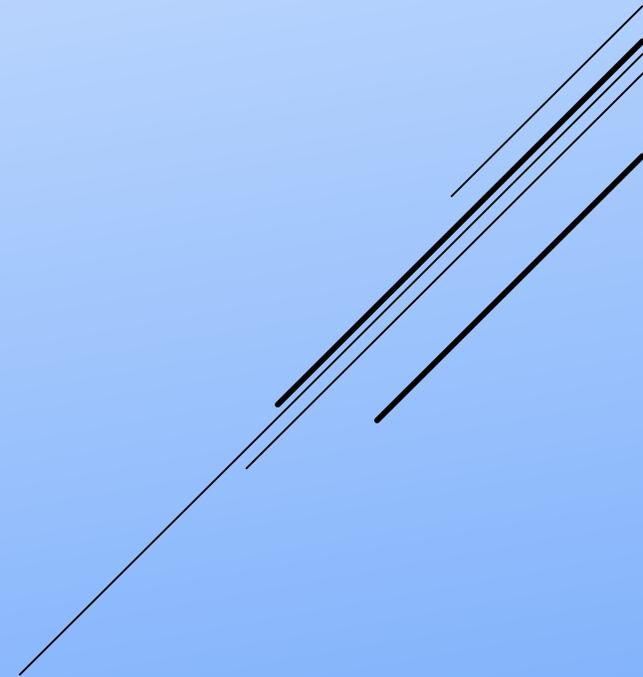
- ▶ 特殊な器具・技術が必要
- ▶ 操作に多少の制限がある
- ▶ 手術時間が延長する傾向にある
- ▶ 腹腔鏡手術特有の合併症の可能性がある

病院設備・技術・麻酔管理の問題

習熟した獣医師がおこなえば、避妊手術は
拡大して臓器が見える腹腔鏡の方が安全なくらい！

腹腔鏡のデメリット

腹腔鏡を使った避妊手術の方法





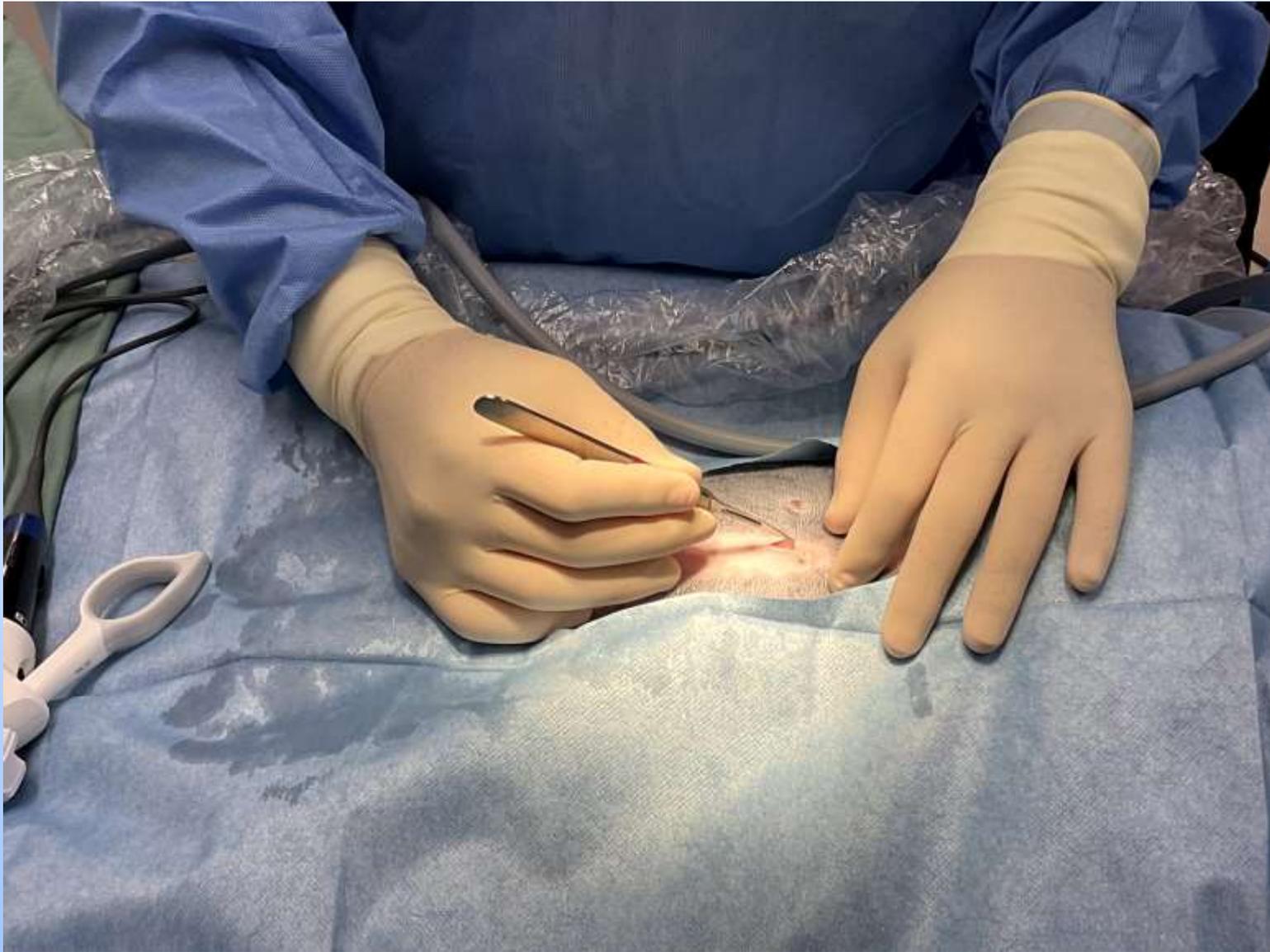
全身麻酔をかける



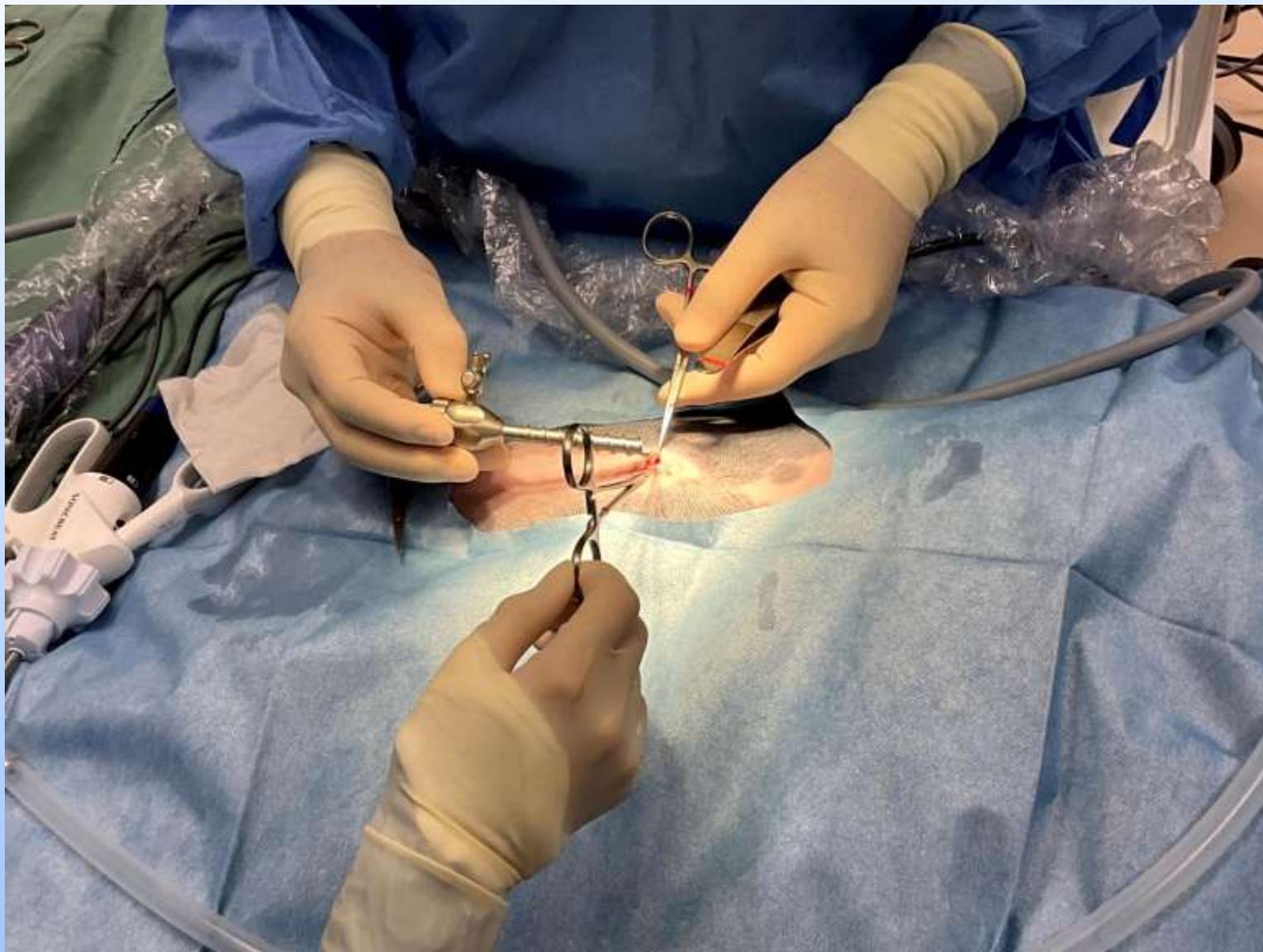
気管チューブを入れ、ガス麻酔をする



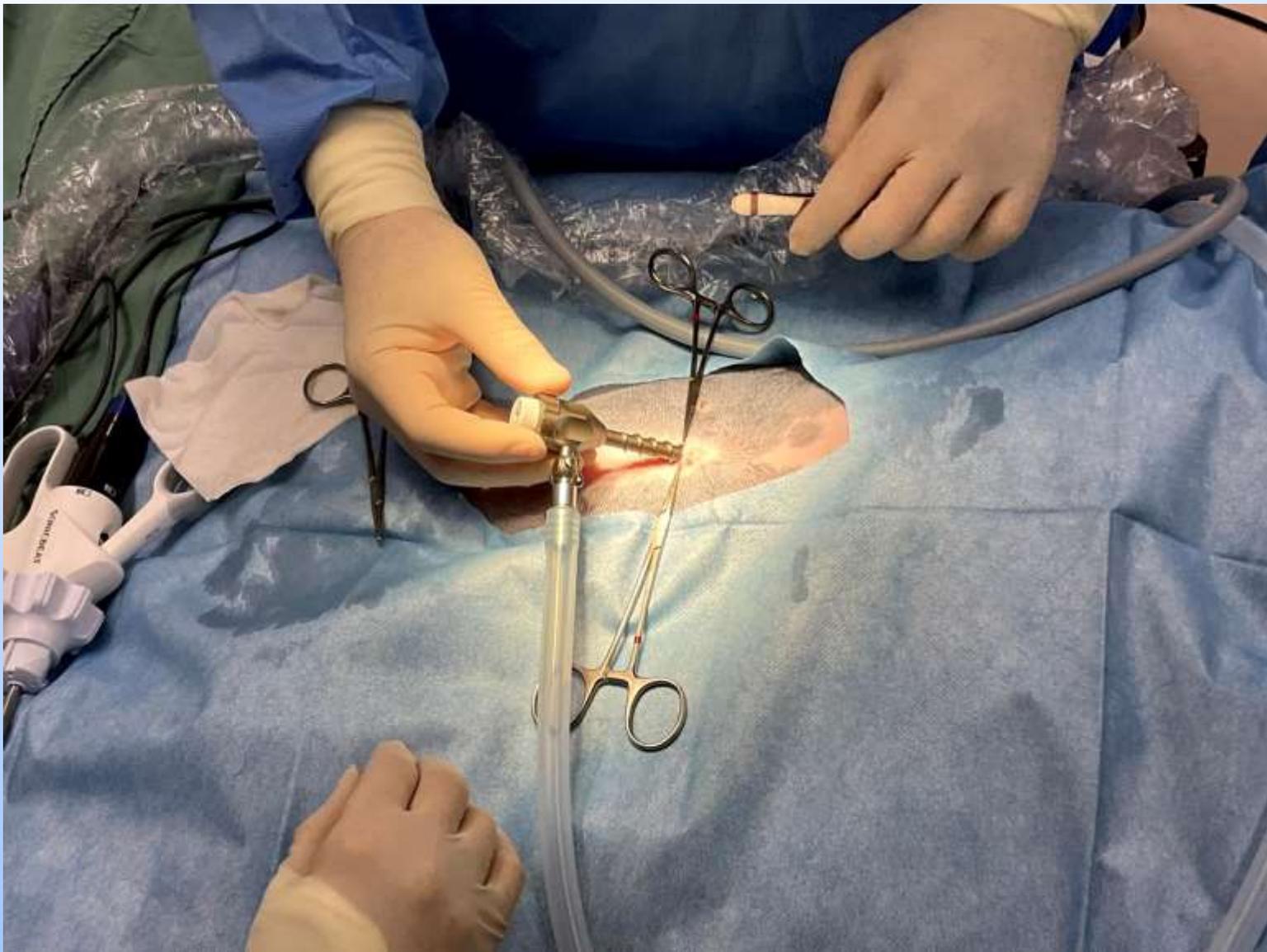
お腹の毛刈り、消毒をする



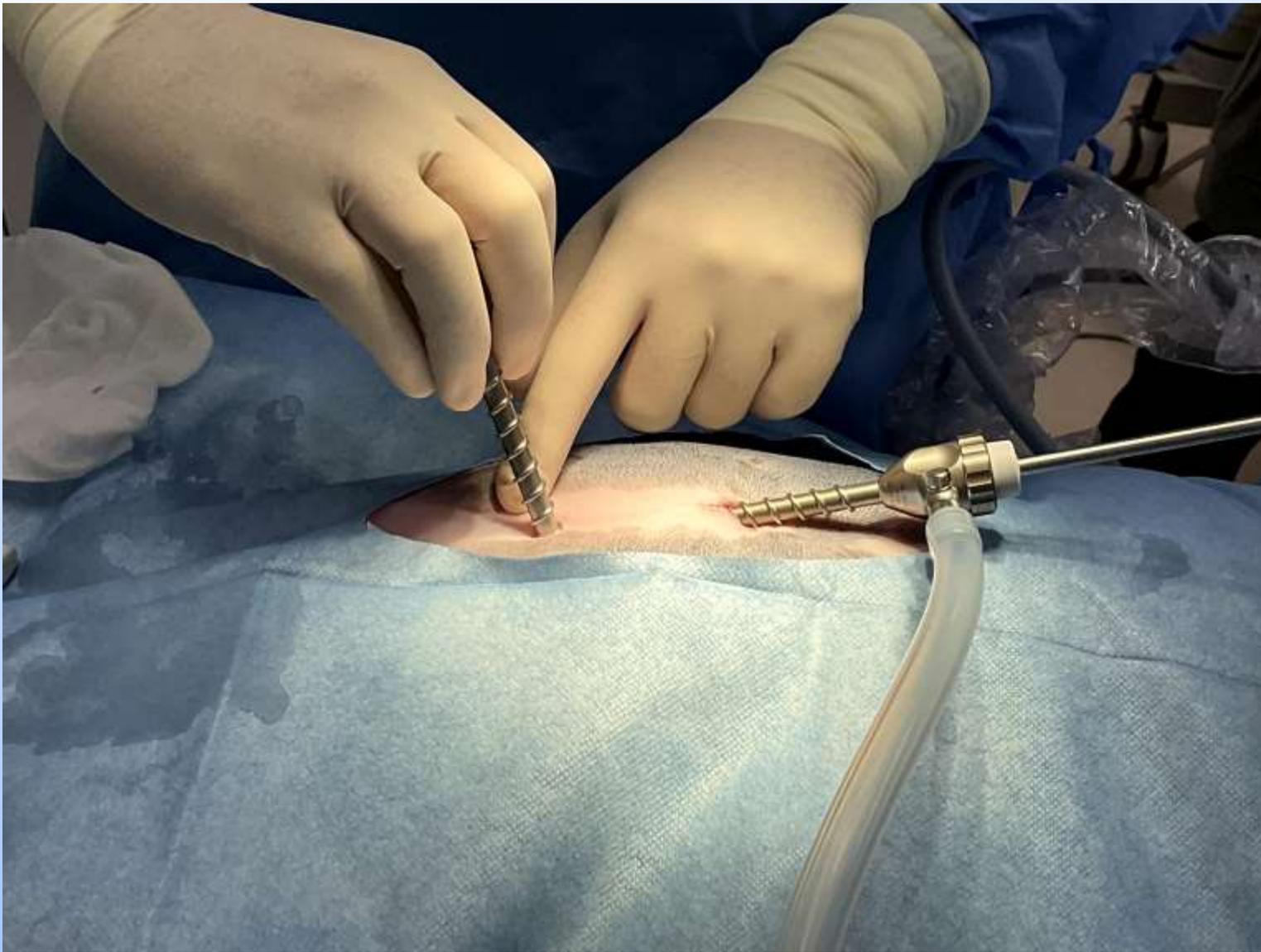
おへそ側の穴を始めに開ける



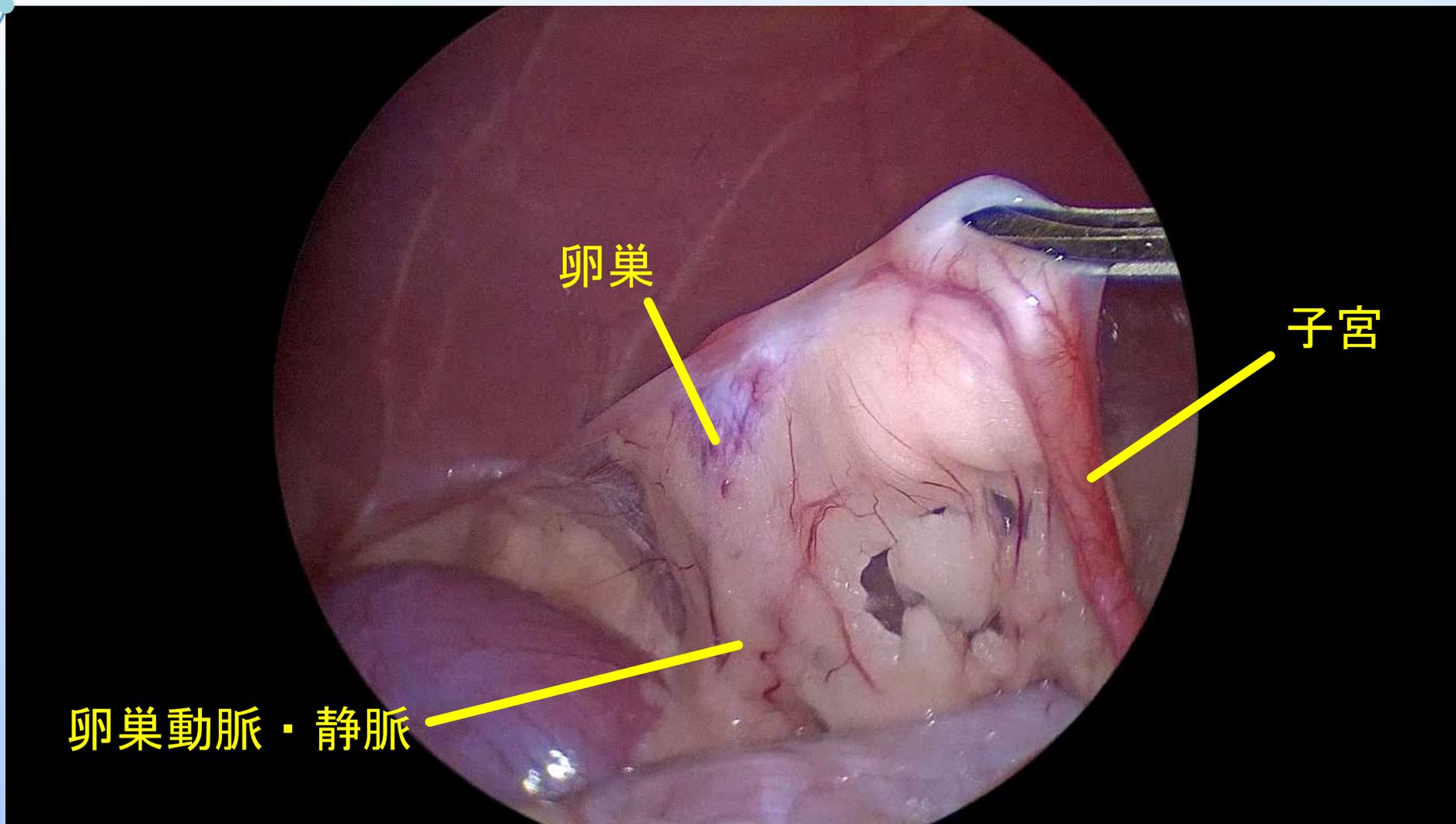
トロツカーと呼ばれる筒を入れる



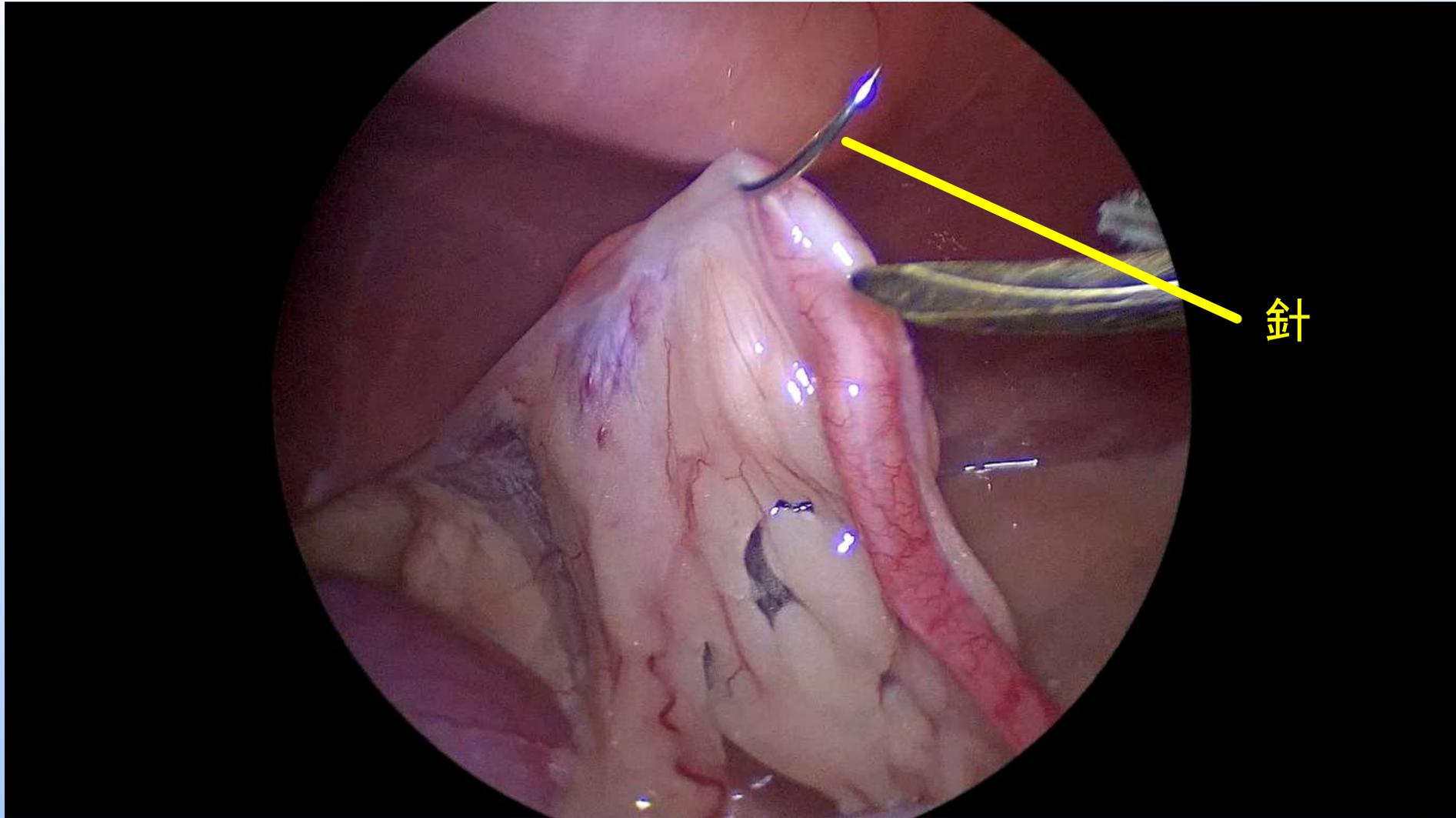
お腹の中に二酸化炭素ガスを入れる



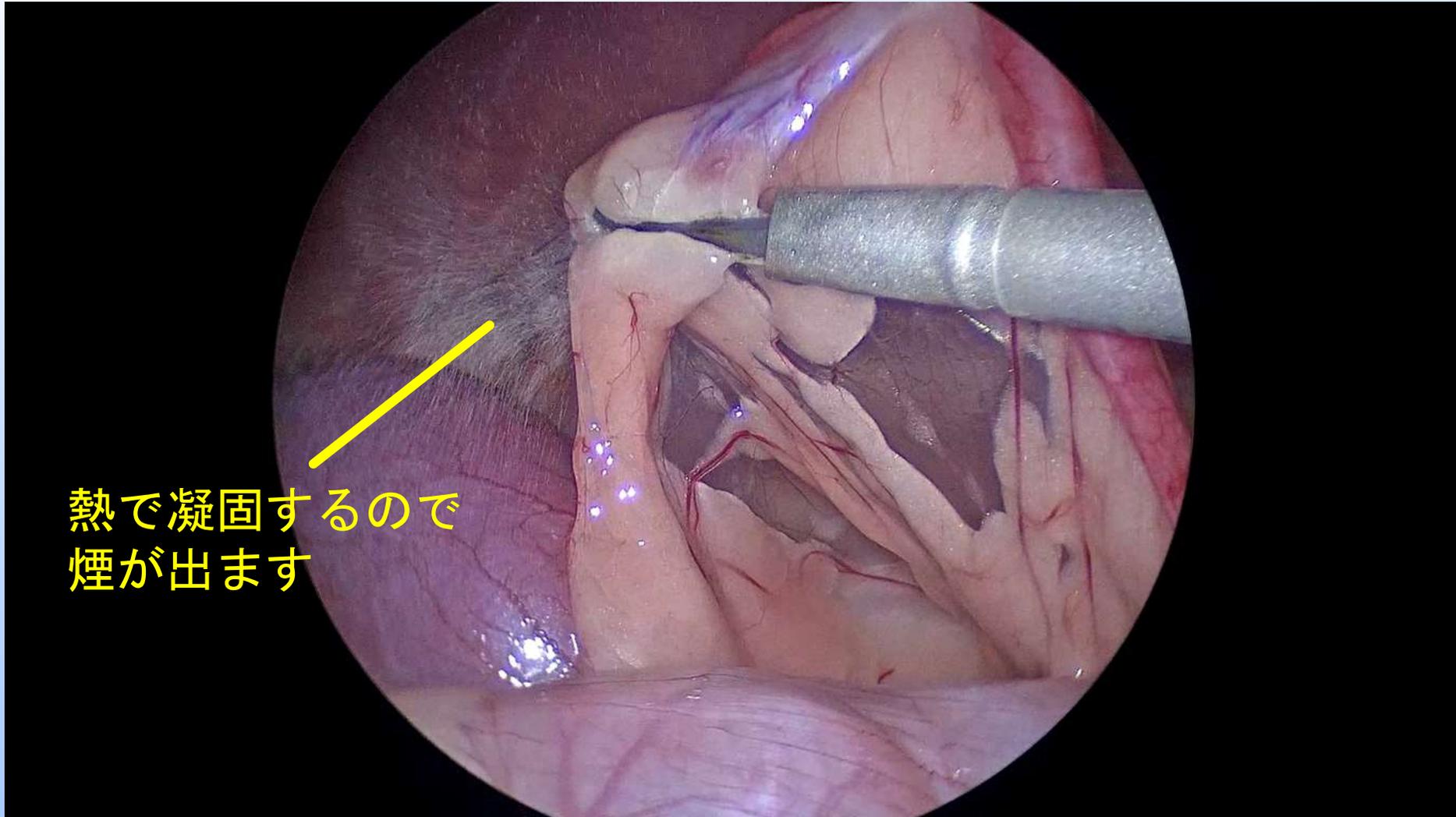
トロツカーにカメラを入れ、2つめの穴も開ける



左側の卵巣に走行する血管を確認

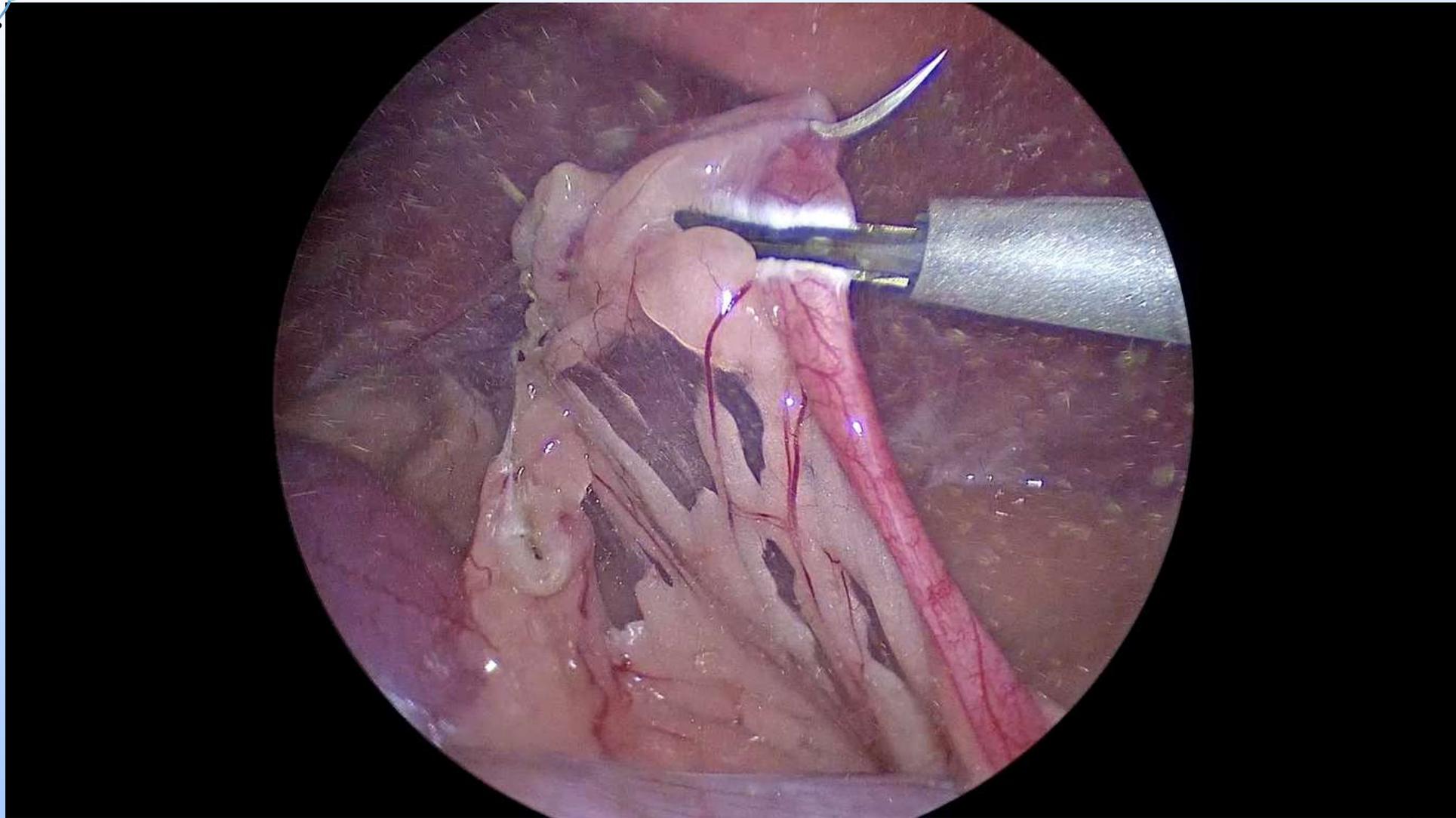


わき腹から針を入れ、卵巣を持ち上げる

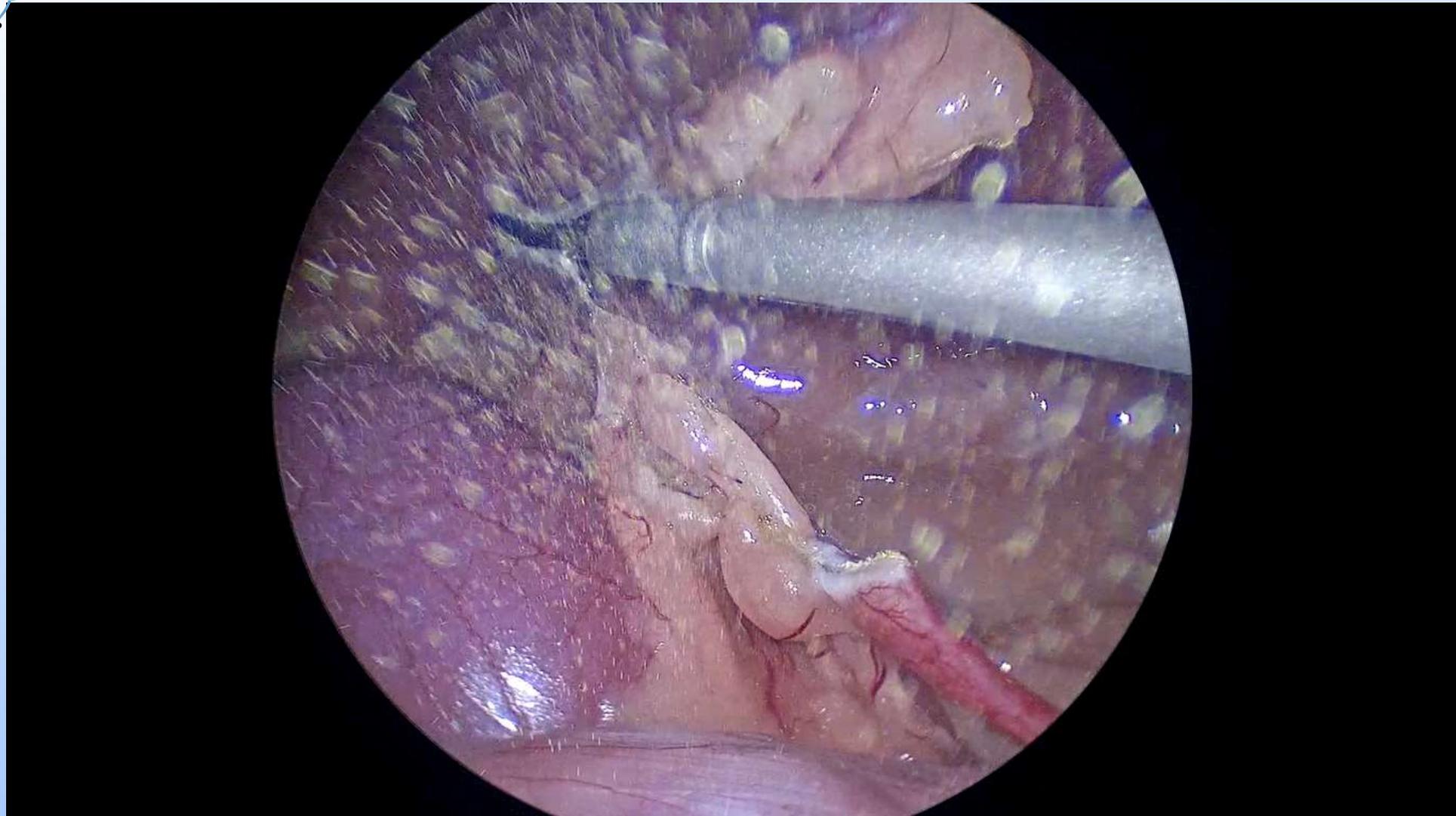


熱で凝固するので
煙が出ます

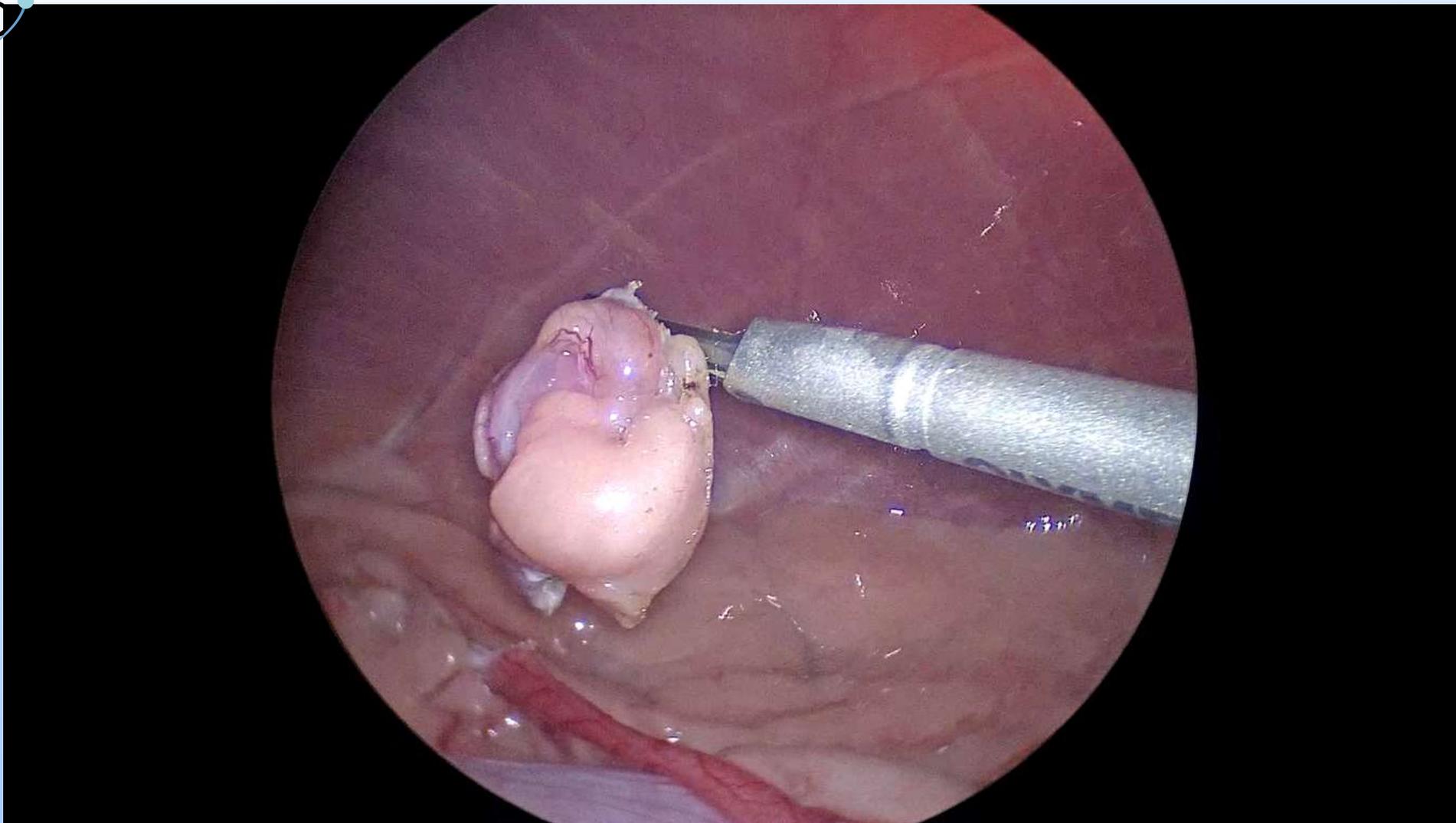
卵巣の血管を止血しながら切断する



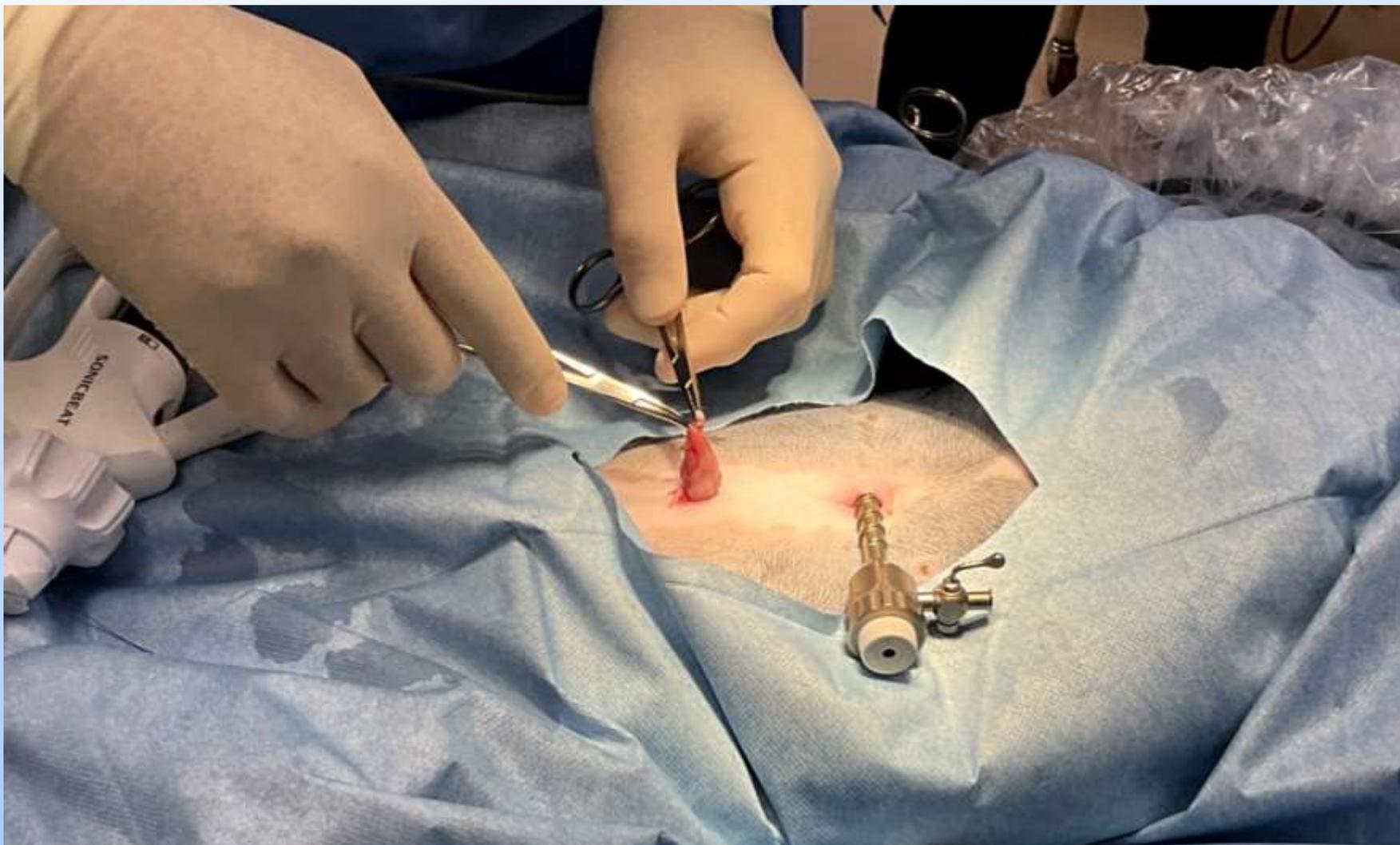
子宮側も切断する（卵巣のみ摘出の場合）



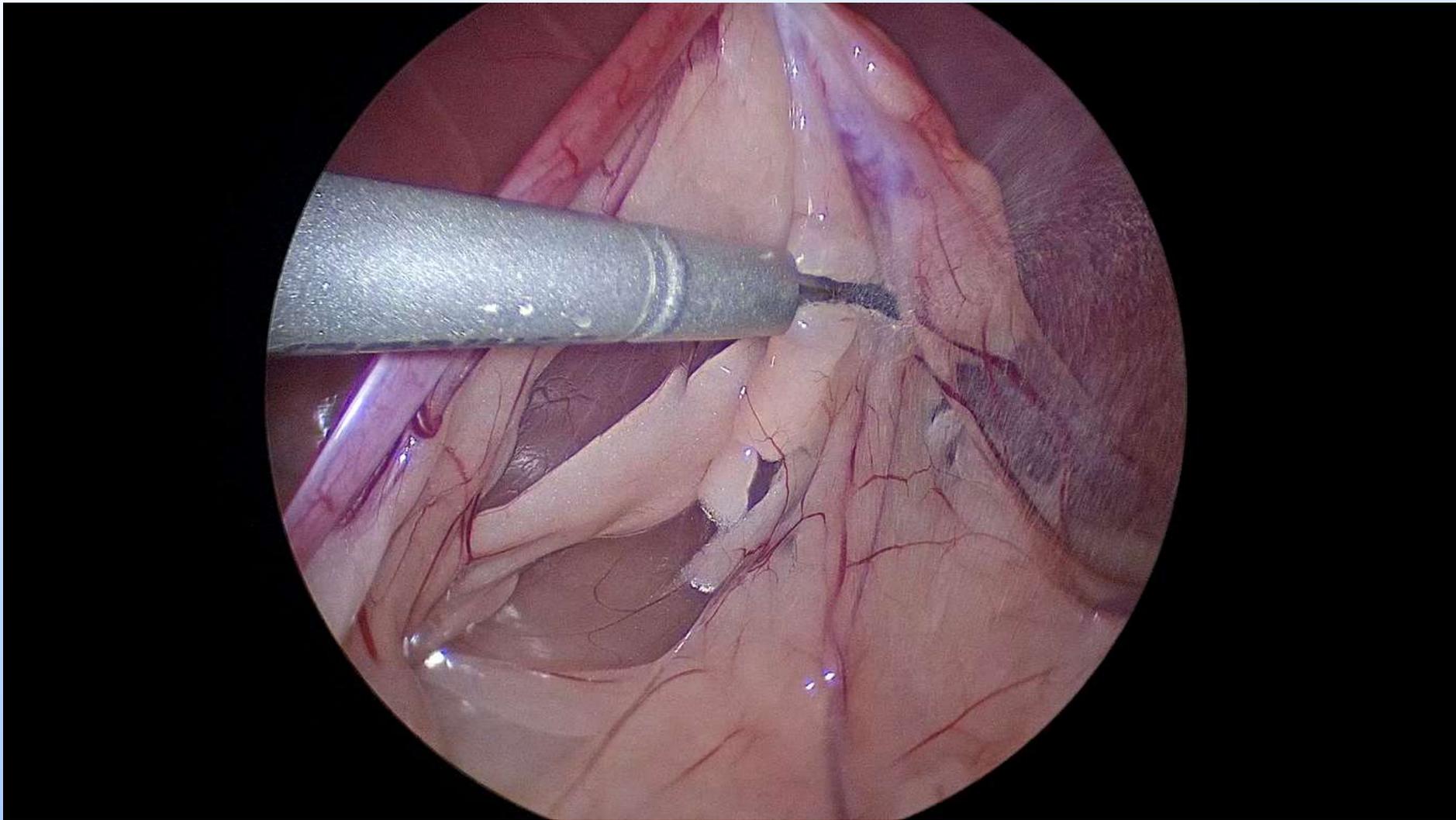
靭帯まで丁寧に切除する



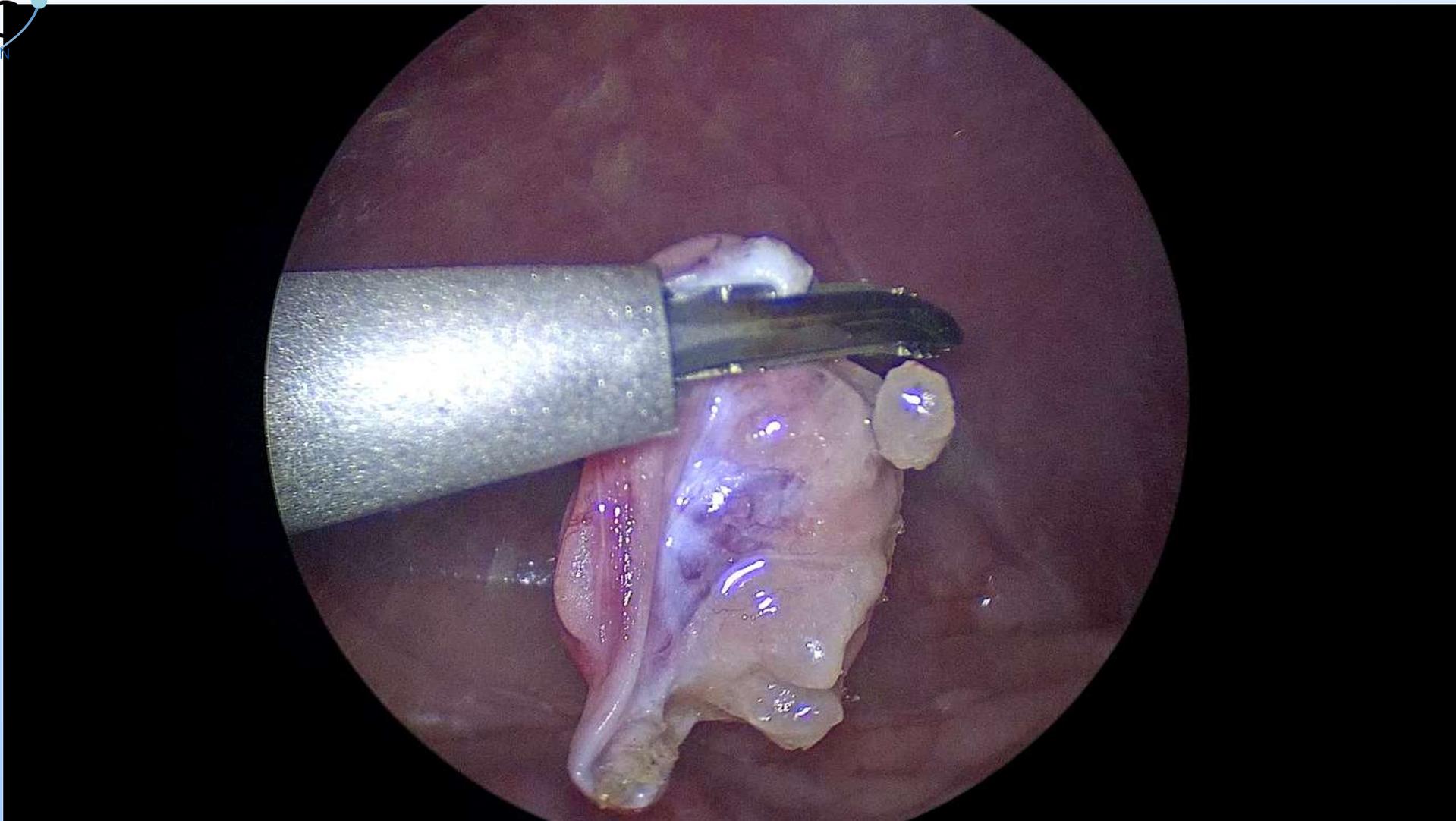
卵巣を切除した状態



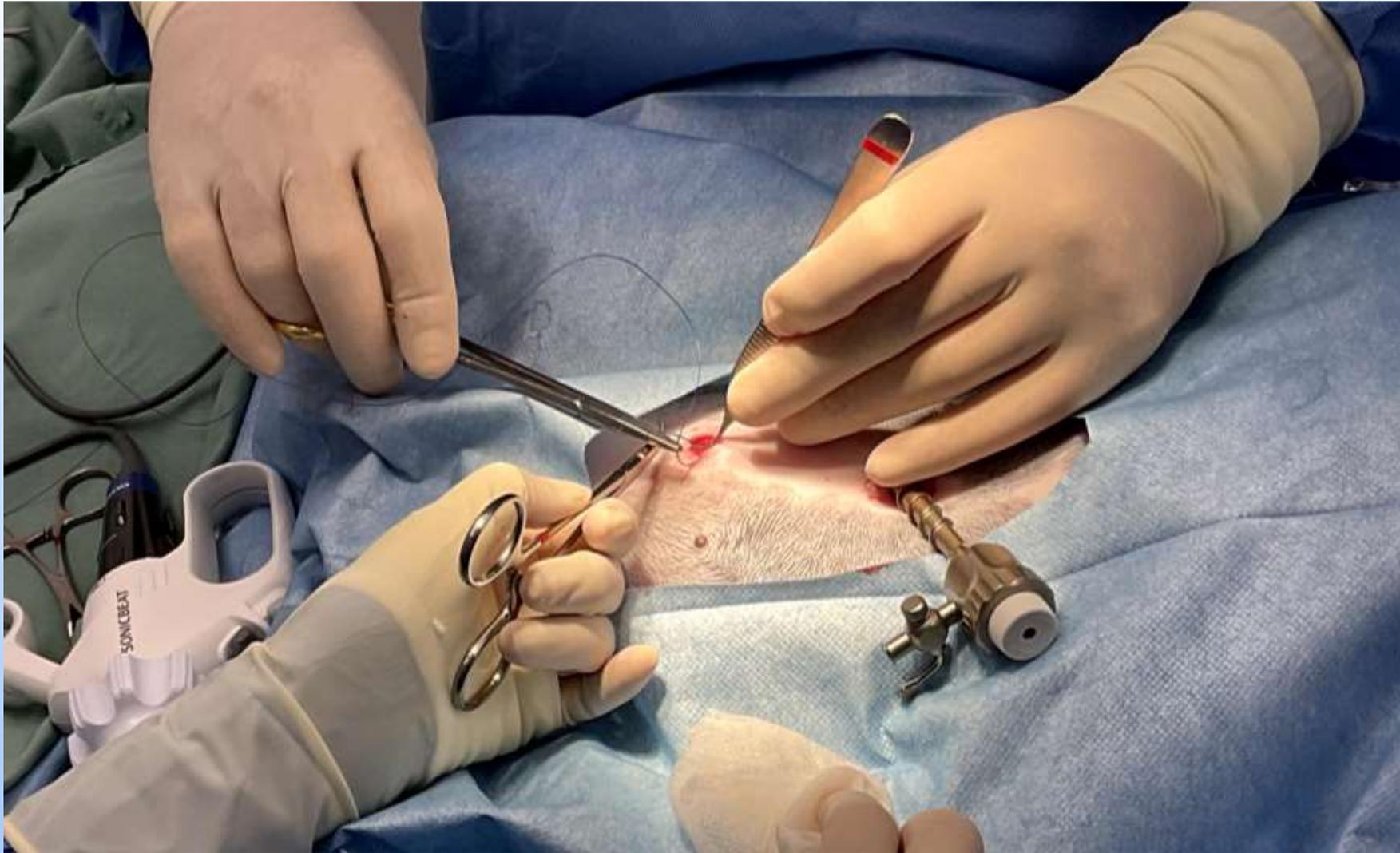
後ろの穴から卵巣を取り出す



反対（右）側も同じように卵巣を切除する



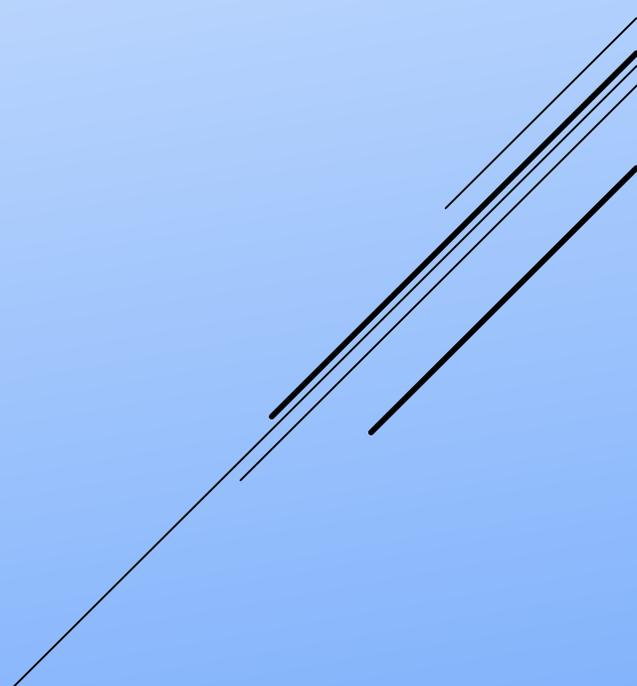
切除した卵巣を取り出す



傷口を縫合する



終了



いろいろな犬種の傷あと（2ポート）



腹腔鏡の避妊手術は、3ヶ所に穴を開ける方法が主流です。

しかし、ほとんどの犬や猫では、卵巣子宮を細い針で支持し、穴を2ヶ所にして安全に手術をすることができます。

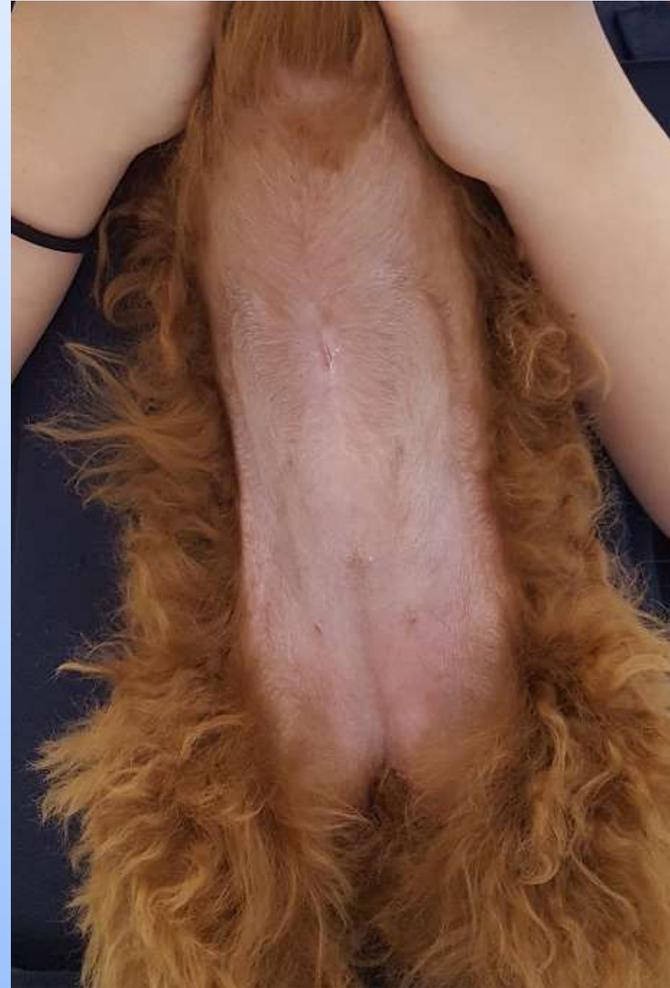
当院では、ほぼ全ての子に2ヶ所の穴で行っています。



チワワの女の子 手術直後（左）

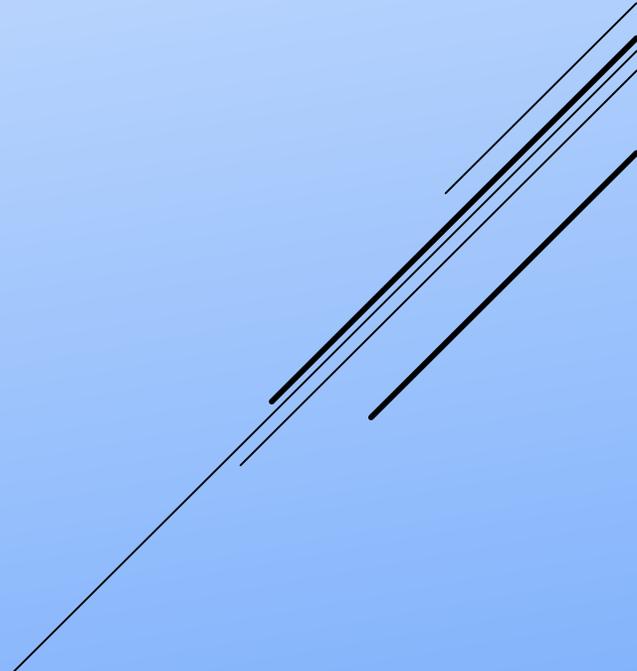
シェルティーの女の子 手術直後（右）

取り出す卵巣や子宮が大きい場合、それを取り出すときに
後ろ側（写真では下）の傷あとが少し大きくなることがあります。



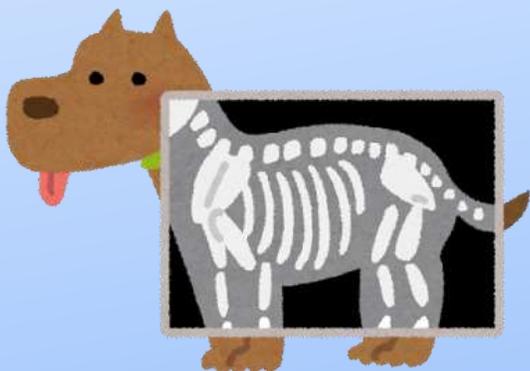
トイ・プードルの女の子 手術直後（左）
同じ子で手術から7日め 抜糸直後（右）

手術の流れ



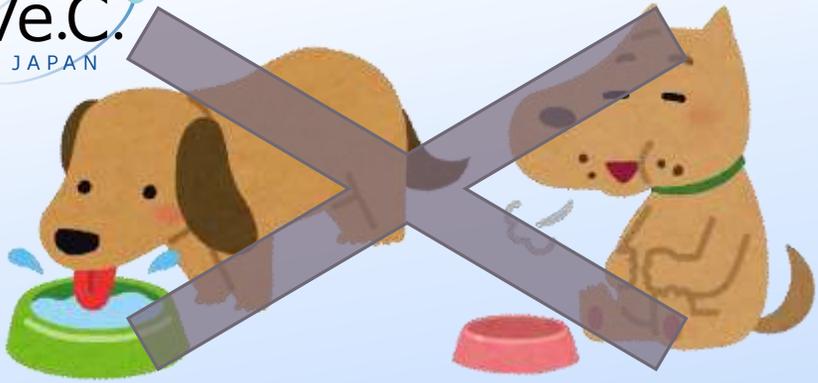


① まずは電話で**診察と術前検査**の
予約をしてください



② 診察と説明をしてから、
血液検査とレントゲン検査で
麻酔をかけてもいいかどうかの
判断をします





③ **検査とは別の日**に、手術の予約を入れます

④ 手術日の朝は、ご飯と水を抜いて午前中に来ていただきます

⑤ 手術日の昼頃、腹腔鏡で避妊手術をします

⑥ **手術日の夜**には、元気に帰宅できます

⑦ 一週間後に抜糸をします





手術の後は服を着ると
動きやすくて
ストレスが少ないよ！